

超多糸量系蚕品種「翔萌」の性状

(蚕試：養蚕経営部)

1. 背景とねらい

昭和60年11月、春蚕用蚕品種として「翔萌」が指定を受けたので、本品種の性状と飼育取り扱い上の留意点ならびに普通品種と比べた場合の繭生産効率と経済性を示し、指導上の参考に供する。

2. 技術内容

(1) 品種来歴

本品種は、農林水産省蚕糸試験場が春蚕用に育成した日中一代交雑二化性の白繭種である。

(2) 品種の特性

「翔萌」は従来の品種に比べると、虫体が大型で蚕体重は10%程度重い。食桑は極めて活発であり、5齢食下量は24%多く、消化量も30%多い。

繭重・繭層重は9~15%重く、繭糸質の生糸量歩合、繭糸長、繭糸量とも従来品種より良好である。

しかし、化蛹歩合がやや低く、小節点も低目に出るので飼育上留意する。

(3) 飼育・上簇上の留意点

ア、稚蚕飼育

桑・人工飼料育ともに適し、眠起がよく揃い、飼育取扱いは容易である。蚕児経過は普通であるが、桑付け当初より食欲が旺盛であり桑(飼料)不足にならないように注意する。

イ、壮蚕飼育

4齢期以降も食桑は活発であり、特に5齢3日目からは桑不足にならないように蚕座面積を20%程度広く早目に拡座し、良桑の飽食に努める。なお、5齢の経過日数は半日~1日程度長い。

ウ、上簇環境

繭糸長は従来品種より20%程度長いので簇中の環境良化に努める。上簇後のウロツキ蚕が多いこともあるので、わたり蚕拾いをこまめに実施する。

(4) 繭生産効率と経済性

「翔萌」の繭生産効率と経済性は、従来品種に比べ、繭重は22%重い化蛹歩合やや低く、2万頭当たり収繭量は10%の向上となった。さらに新梢100Kg 当り収繭

量及び繭販売額ではそれぞれ 6%、10%と高く、10a 当り所得額では24%も上回った。

3. 指導上の留意事項

本品種は従来の品種より蚕体重で10%、食下量で24%と多いので桑不足にならないよう注意する。

4. 参考文献・資料

技術資料 110号

5. 試験成績

表1 5 齢食下量、消化率

品 種	経過日数	食 下 量	消 化 量	消 化 率	盛蚕体重	熟蚕体重
翔 明	8 日06時	6.85 g (124)	2.79 g (130)	40.8 % (106)	6.79 g (110)	5.36 g (108)
日134号× 支135号	7 日14時	5.52 g (100)	2.13 g (100)	38.5 (100)	6.19 (100)	4.96 (100)

表2. 超多糸量系蚕品種「翔明」の繭生産効率と収益性

蚕品種	4・5 齢 新梢量 (kg)	5 齢 経過 (日時)	掃立～ 結繭健 蛹歩合 (%)	2万頭 収繭量 (kg)	繭重 (g)	繭層重 (cg)	繭層 歩合 (%)	繭糸長 (m)	解舒率 (%)	繭糸量 (kg)	繭糸 織度 (d)	生糸量 歩 合 (%)	繭格 等
太平× 長安	645.6	8.07	88.3	30.8 (100)	1.80 (100)	44.1 (100)	24.5 (100)	1,112 (100)	85	33.3 (100)	2.73 (100)	19.62	1
翔明	668.0	8.21	76.0	33.8 (110)	2.19 (122)	61.0 (138)	26.3 (125)	1,390 (125)	66	41.4 (124)	2.72 (100)	20.20	優

蚕品種	新 梢 100kg 当り収 繭量(kg)	繭層生 産効率 (kg)	生糸生 産効率 (kg)	繭単価 (円)	新 梢 100kg 当り販 売額(円)	飼育可 能箱数 (箱)	収繭量 (kg)	販売額 (円)	生産費 (円)	所得 (円)	所得率 (%)
太平× 長安	4.78 (100)	1.17 (100)	0.94 (100)	2308.09 (100)	11021.3 (100)	2.9	90.0 (100)	207,831	107,738	100,093 (100)	48.2%
翔明	5.06 (106)	1.33 (114)	1.02 (109)	2402.58 (104)	12167.9 (110)	2.8	95.5 (106)	229,453	105,247	124,206 (124)	54.1%

- 条件設定
- 1) 桑園面積：10a
 - 2) 桑収葉量：1885.7 kg
 - 3) 総標準掛日：11,634 掛
 - 4) 飼育方法：糸桑育、幼若ホルモン無使用